

地区だより

…………… 令和4年10月1日発行

ちゅうおう

<地区人口と世帯数>

男 18,958人 女 20,454人
計 39,412人
世帯数：20,909世帯
(9月1日現在)

2022

10月号

市からのお知らせ

【編集発行】

福島市役所広聴広報課
〒960-8601 福島市五老内町3-1
☎525-3710 ☒536-9828

中央東・中央西地区自治振興協議会を開催しました

8月30日に中央東地区、8月31日に中央西地区の自治振興協議会をアオウゼ(MAXふくしま4階)大活動室で開催しました。

各地区の委員と市長ほか市関係者が出席し、活発に意見が交わされました。

■問／地域共創課 ☎525-3731

中央東

当日は55人の委員が出席。「盛り上げよう、Newわらじまつり」を協議テーマとし、「わらじまつり」のさらなる盛り上がりに向けた取り組みについて意見交換を行いました。

地区からの提案に対し、今後、地域に根差し誰もが楽しく参加できる「わらじまつり」として開催内容の充実を図っていくことや、「新わらじおどり」のさらなる浸透を目指して、SNSなどでの情報発信やイベントでのPR活動に加え、学校行事で披露していただくなど、実行委員会を中心に新たな取り組みについて検討していくなどの市からの見解後、さまざまな意見が交わされました。



中央西

当日は50人の委員が出席。「野田町地内の大雨降水時の路面冠水対策」を協議テーマとし、県道「庭坂・福島線」と市道「田中前・蛭田線」の交差箇所付近において大雨時に発生する冠水の問題について意見交換を行いました。

地区からの冠水の原因究明と、排水施設能力の強化要望に対し、冠水の主な要因として道路整備による影響や地形的な問題などが考えられ、今年度、県において県道側溝の雨水渠への接続工事が実施されるため、実施後の冠水状況を検証しながら対策を検討していくなどの市からの見解後、さまざまな意見が交わされました。



「ふくしま健民アプリ」で健康習慣づくりに取り組もう！！

●健康づくりがポイントに♪お得な特典もあります(県内約1,600店舗で使える)

毎日のログイン、歩数、健康チェックへの回答でポイントが貯まります。ポイントを貯めて取得した「ふくしま健民カード」の提示でお得な特典やプレゼントキャンペーンへの応募もできます。

●地域貢献にもつながる！(健康づくりで競争(共創)チャレンジ)

市内18地区ごとのアプリの活用状況を競い、結果(順位)に応じてまちづくり資金を令和5年度に交付します。令和4年度の取り組み期間は1月末まで！！※アプリ内でお住まいの地区の登録が必要です。

●7月末現在の順位 中央東地区：第2位
中央西地区：第17位

■問／地域共創課 ☎525-3731



◀Android版



◀iOS版

災害発生時の中央地区の避難所はこちら

●洪水・土砂災害時の開設避難所

警戒レベル3【高齢者等避難】発令で開設する避難所

三河台小学校

橘高等学校

警戒レベル3【高齢者等避難】発令で下記店舗駐車場への一時避難が可能

ヨークベニマル 入江町店

ヨークベニマル 野田店

(株)いちい フォーズマーケット

警戒レベル4【避難指示】発令で追加開設する避難所

福島成蹊高等学校

桜の聖母学院高等学校

●地震災害時の開設避難所

NCV ふくしまアリーナ

●ペット同伴避難所

勤労青少年ホーム

■問／危機管理室 ☎525-3793

中央学習センターからのお知らせ

【編集】福島市中央学習センター
〒960-8018 福島市松木町1番7号
☎534-6631 ☎533-7592

第53回 中央地区文化祭 開催!!

利用団体の方々の作品展示、芸能発表の動画放映、主催事業の各作品の展示、こども広場を開催しております。密にならないよう4日間で開催いたしますので、ぜひ文化祭をお楽しみください。

- ◇と き 11月3日(木)～11月6日(日) 午前9時～午後5時30分(最終日は午後3時まで)
- ◇ところ 中央学習センター
- ◇主催 第53回中央地区文化祭実行委員会 福島市中央学習センター



ICT活用セミナー 受講生募集! パソコン集中講座【お家で作る年賀状(初級編)】

～ 初心者の方やレベルアップを目指す方、大歓迎～

- 日 時 11月17日(木)・24日(木) 全2回 午前10時～12時
- 場 所 中央学習センター
- 内 容 Wordを使った年賀状作成(裏面作成)
 - ・パソコン(Word)の基本操作、イラスト・写真等の挿入・編集、文字の入力・編集、レイアウトの工夫、他
 - ※イラストは講師側で準備しますが、複写不可となります。宛名の作成と印刷は行いません。
- 対 象
 - ・中央地区在住・在勤の一般成人の方で、初歩的なパソコン操作(マウス操作、文字入力等)ができる方
 - ・マイクロソフト社製Wordがすでに入っているノート型パソコン(Windows)をお持ちの方で、当日持参できる方
- 定 員 10名(先着順) ○参加費 2,000円(テキスト代等)
- 準備物 ノート型パソコン(Windows)、パソコン電源コード、マウス、筆記用具等
- 講 師 パソコンスクールPeaCh
吉田かおり 先生 高橋あゆみ 先生
- 申込方法 10月19日(水)から11月9日(水)の間に①中央学習センター窓口・②電話・③QRコードからオンラインにより、①～③のいずれかの方法で申し込みください。電話での申し込みは10月20日(木)より受け付けます。電話・オンラインでの申し込みの場合、参加費は当日持参してください。
 - ・受付時間 午前9時～午後5時45分(休館日(火曜日・祝日)を除く)



中央家庭教育学級 受講生募集!

親子で体を動かしたり、音楽に触れたりしながら、楽しく学習する2つのコースの受講生を募集します。ぜひご参加ください!

各コース共通(全8回)

- 定 員 15組(予定)
- 参 加 費 500円(保険料・材料費含む)
- 場 所 中央学習センター 2階ホール
- 活 動 日 11～2月の主に木曜日
- 時 間 午前10時～正午
- 申込方法 オンライン申請で受付を行います。右記のQRコードを読み取り、必要事項をご入力ください。



0歳児コース カンガルー教室(後期)

☆令和4年1～6月生まれ
のお子さんとその保護者



ベビードダンス

1歳児コース ペンギン教室(後期)

☆令和3年1～6月生まれ
のお子さんとその保護者



親子体操

令和4年度「こども茶道教室」受講生募集

- と き 11月13日・20日・27日、12月4日・11日(日曜日、全5回)
午後1時30分～午後2時30分
- と ころ 中央学習センター1階和室
※11月20日、27日は草心苑で実施。
- 対 象 市内の小学1年生～6年生とその保護者
- 定 員 10組(先着順)
- 講 師 武者小路千家福島官休会 山岸廉子 先生
- 参加費 1,200円(予定)※保護者の方が一緒に参加される場合は2名分お支払いいただけます。
- 申込み 10月8日(土)～10月31日(月)まで
※詳しくは学校配布のチラシをご覧ください。



令和やさしい地元学

信夫野・歴史の細道 第19回

ふくしまけん歴史の案内人の会
(元福島県遺跡の案内人の会)

会長：紺野義行 氏

政宗と伏拝坂

中世奥州の幹線道路は八丁目(現松川町)から関谷をへて石那坂を下って永井川から郷野目に至ったとみられるが、天正18年(1580)ころに清水町宿が開かれ、伊達政宗によって根子町(ねずまち)と名づけられたとされている。伏拝を通る奥州街道は、伊達政宗の支配下のころ、八丁目から若宮・清水町を経由し、伏拝・太平寺・郷野目へと開かれた街道といわれる。

伏拝は、「信達一統誌」には「かつて福島地方が湖水であったとき、その中にひとり御山(信夫山)が屹立していた。この地域の人々や旅人たちは、この地の坂の上から遙かに御山の神を伏し拝んだ」と記されている。信夫山の羽黒権現のもとには鎌倉期に羽山麿寺があり、呪具・鏡等の出土品が出ていることから、この頃から信夫山の信仰が生まれ、この地域の人々のみならず旅人ら多くの人々が信夫山遥拝(ようはい：伏し拝み)を行ってきたことが想像できる。

郷野目は吉田東伍「大日本地名辞書」には、「河辺はカウノベと訓み、今郷野目と云ふは、即河辺の訛とす」とある。郷野目は荒川・須川が阿武隈川に注ぐ地点にある。奥大道も通り、福島盆地の南からの入口ともなるこの地点は、水陸交通の要衝として経済・政治上重要な役割をはたしていたのだろう。源頼朝が平泉藤原氏を討つため奥州街道を北に向かった際、石那坂の戦いで、佐藤基治は重要なこの地を叔父の河辺太郎高経ら信夫の兵に抑えさせたのである。阿武隈川に流れ込む河川を天然の堀として砦を構えたのである。

明治6年(1873)奥州街道は陸羽街道と改称されたが、伏拝の坂はそのままであった。明治9年、明治天皇は東北巡幸の際坂の上の羽山岳(足尾山)からこの坂を急下し、福島駅着とある。明治11、12年に至って清水町から伏拝の間に新しい道が開かれ、羽山岳の尾根の中腹伝いに伏拝の集落へと抜ける道路が開通し、国道4号線となった(現旧国道4号線)。



4号線と奥州街道の分岐点

新型コロナウイルスの影響により、講座の内容が変更・中止になる場合がございますのでご了承ください。